

第41回日本血液事業学会総会の開催にあたって

総会長 日本赤十字社九州ブロック血液センター 入田和男

平成29年10月31日(火)から11月2日(木)までの3日間、福岡国際会議場にて、第41回日本血液事業学会を開催いたします。

本学会総会は、九州ブロック内8県血液センターの皆様の全面的なご支援とご協力により開催の運びとなりました。関係各位にこの場をお借りして御礼申し上げます。

血液センターの各現場は、輸血を必要とする患者さんへ安全な血液製剤を安定的にお届けするため、日々業務に邁進しています。その姿は本当に頼もしい限りです。しかし、財政面では、血液製剤の供給数減少による減収基調の中での経営再建という、今まで経験したことがない難しい局面を迎えてます。このような中、田所憲治前血液事業本部長は、事業・財政・意識・組織・人材育成にわたる全ての領域での改善活動を宣言され、「広域事業運営体制を活かし切る」ための取り組みがスタートしました。

改善活動の効果は、毎月公表される事業改善マネジメント指標の採血効率ならびに財務指標にも表れ始めています。その背景には職員一人ひとりがSOP人間から脱却し、変えること、変わることを楽しんでいる姿があります。とはいっても、我々は改善活動の入門者にすぎません。事業縮小の中で健全経営に向かうためには、今からが改善活動の正念場です。高橋孝喜血液事業本部長が目指されている「改革」を実現させるためにも、改善活動の定着が不可欠です。

そこで、今回のテーマは『カイゼン』と致しました。改善活動にかかる様々な情報の収集・共有の場を提供することが、本総会に与えられた最大の使命との認識からです。博多は古来、大陸からの人・物・情報の玄関口として栄えてきました。今回も、全国から珠玉の情報が博多に集まっています。改善活動の基礎から実践まで、そして改善活動とは不可分の人材育成の領域にも踏み込んだ内容です。現場で役立つ情報が満載の、そして何よりもワクワク感のある総会をお楽しみ下さい。

今回、特別講演4題、教育講演4題、シンポジウム、ワークショップ、特別企画13テーマ、協賛企業による共催セミナー8題を準備致しました。一般演題も326題のご応募を頂き、充実したプログラムとなりました。ここに改めて皆様の熱意とご協力に感謝申し上げます。また、「カイゼン」の一環として、ポスター発表の方法に工夫を凝らしてみました。ポスター会場においてより多くの聴講者が、より快適な環境で議論に参加して頂けることを願っております。

最後になりますが、この時期の九州は過ごしやすく、様々な食や文化に触れることができ、観光にはうってつけの季節です。幸い、総会終了後には三連休が待ち構えています。被災地復興支援も兼ね、九州各地へ足を延ばして頂き、今総会参加の思い出とされてはいかがでしょうか。どうしてもお時間が取れない方は、博多の食と筑紫平野が生む日本酒をご堪能下さい。ささやかなグルメ情報も提供致しておりますので、ご利用頂ければ幸いです。